



## 「イーストスプリング・ジャパン中小型厳選バリュー株ファンド」 本日より楽天証券にて取扱い開始

### PRESS RELEASE

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社(東京都千代田区、代表取締役社長兼 CEO 関崎 司)が運用する「イーストスプリング・ジャパン中小型厳選バリュー株ファンド」(以下、「当ファンド」)の取扱いが、本日より楽天証券株式会社にて開始されましたのでお知らせいたします。

当ファンドは、主としてわが国の中小型株<sup>\*1</sup>に実質的に投資を行い、中長期的な値上がり益の獲得を目指すファンドとして2014年8月に設定されました。2016年3月31日時点での純資産総額は約160億円、販売会社数は楽天証券株式会社を含めて2社となっています。

当ファンドは、独自のバリュー投資の運用哲学に基づき、株価が企業価値に対して割安に評価されている銘柄へ集中投資を行うことを特徴としています。また、当社のグループ会社であるアジア最大級の資産運用会社、イーストスプリング・インベストメンツ(シンガポール)リミテッドの日本株運用チームが運用を担当し、企業訪問等を通じたボトムアップ・アプローチにより、長期的な収益力に基づく企業の本来価値を見極め、厳選した銘柄に投資を行っています。

昨今の日本企業は、潤沢な手元資金や金利低下等を背景に増配・自社株買い、企業買収等を活発化しています。また、日本版コーポレート・ガバナンス・コードの導入等、株主重視の姿勢や企業収益力の強化を促す取り組みも始まっており、今後さらなる企業価値の向上が期待されています。そのような中、当ファンドの主要投資対象である中小型株は、株価上昇局面では大型株を上回って上昇する傾向があり、今後、中長期的に株価上昇が期待される局面において、魅力的な投資対象であると考えます。

当社グループは、150年以上におよぶアジア投資における長い歴史と豊富な経験を有し、アジアを中心に14のマーケットで資産運用事業を展開しています。特に、アジアのインフラ関連投資の分野では債券、上場株式に加え、プライベート・エクイティ/メザニンなど幅広い投資実績を有しています。

当社は、これからもアジア投資のエキスパートとして、アジアの成長をとらえた投資商品を日本の投資家の皆様に提供し、中長期的な資産形成に貢献してまいります。

<sup>\*1</sup> わが国の株式市場全体の時価総額のうち、下位3分の1を構成する銘柄とします。ただしより大きな時価総額を持つ企業や、新規公開銘柄等へ投資を行うこともあります。

以上

160408(01)

#### 【イーストスプリング・インベストメンツについて】

イーストスプリング・インベストメンツは、世界有数の金融サービスグループを展開する英国ブルーデンシャル社(以下「最終親会社」)のアジアにおける資産運用事業部門です。イーストスプリング・インベストメンツは2015年12月末時点で約891億ポンド(約15兆円、1ポンド=178.78円)の運用資産を有するアジア最大級の資産運用会社であり、最終親会社は165年以上の歴史を有し、英国、米国、アジアなど世界各国で金融サービス業務を提供しています。

イーストスプリング・インベストメンツは日本をはじめシンガポール、香港、韓国、インドネシア、マレーシア、台湾、ベトナム、UAE、ルクセンブルグ、米国、英国で資産運用事業を展開し、さらに中国、インド、香港では合併事業を行っています。現在では14のマーケットで資産運用事業を展開しています。

【イーストスプリング・インベストメンツ株式会社 会社概要】

- ◆ 設立: 1999年12月
- ◆ 資本金: 6億4,950万円
- ◆ 住所: 東京都千代田区丸の内2-6-1 丸の内パークビルディング
- ◆ 登録番号: 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第379号
- ◆ 加入協会: 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会
- ◆ ホームページ: <http://www.eastspring.co.jp/>
- ◆ 運用資産残高: 約1兆1,907億円(2015年12月末時点)

なお、イーストスプリング・インベストメンツおよび最終親会社は、主に米国で事業を展開しているブルデンシヤル・ファイナンシヤル社とは関係がありません。

【本プレスリリースに関して】

※当資料は、報道関係の皆様に向けて作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。 ※当資料は、投資勧誘を目的とするものではありません。